



補習校便り

2025.5.31
No. 25—8
マイアミ補習校
校長 嶋中 直幸

授業参観がありました

5月24日に授業参観を行いました。親御さんの前で頑張ろうと、普段の授業よりも緊張した面持ちの子どもたちが多かったように感じました。



子どもたちの「やる気」を引き出した親の力、さすがですね。どうもありがとうございました。



全校朝会・保護者朝礼もありました

夏休み前最後の全校朝会でした。今年のマイアミ補習校の目標の一つが「主体的な学習者たれ」です。そのためには、普段から主体的な行動をとれるようにする必要があります。全校朝会では「主体的な行動」についての話をしました。

人間の行動には二つのパターンがあります。一つは、刺激→行動。そして、もう一つは、刺激→考え→行動 です。前者は「反応的な行動」と言い、命の危険があるときなど、すぐに行動しなければならないときにとる行動です。しかし、それだけでなく、例えば悪口を言われて腹が立って相手をたたいてしまうのは考えの足りない反応的な行動です。また、今月の目標にもあるように、補習校内では日本語で会話をするように言われていても、つい友達と英語で話してしまったり、鬼ごっこに夢中になって危ない行為をしてしまったりする人も、もしかしたらいるかもしれませんね。そういう時は、自分の気持ちや感情や状況などに支配されて行動してしまっています。本来、それらの行動の責任は、自分にあるのですが、それを相手のせいにする人は、自分の行動を自分で決めていない人です。言い換えると、自分の行動に責任をとっていない人ということになります。

責任は、英語で responsibility = response + ability つまり、どんな反応(=行動)をすればよいか決められる能力のことです。

一方、刺激と行動の間にスペースを空けて、自分で考えてから、どんな行動を選択するか決めるという行動の仕方もあります。

これが「主体的な行動」＝「自分で考えて行動する」というものです。なぜこちらが主体的かと言うと、スペースを空けて一時停止をして、自分で次の行動を選んでいるからです。自分の行動を自分で決めて、望ましい結果を得ようとしています。自分の行動に責任をもっている、だから主体的なんです。

例えば、みなさんは補習校の宿題の他に、現地校の宿題もありますね。宿題をしなければならないのは分かっているながら、その時の気分支配されて、先延ばしになっている人はいませんか？ そんな時には、この「主体的な行動」の話を思い出してほしいのです。

実は、この一時停止ボタンは皆さん一人一人がもっています。どこにあるかという、脳みその前の方にある前頭前野と呼ばれるところにあるのです。ぜひ、カーっとなったり、腹が立って喧嘩しそうになったときは、行動する前に、ちょっとおでこの辺りを押して、一時停止をし、自分も周りも幸せになれる行動を考えて、選んでほしいと思います。

校長の話に先立ち、お引越しや帰国などで、マイアミ補習校から転校するお友達の紹介をしました。彼らからスピーチもしてもらいました。マイアミ補習校での経験を話す子どもたちの姿を見て、ここでの経験はきっとこの後も生かされるだろうと思いました。マイアミ補習校は皆さんの「学びのふるさと」です。これからも、元気に過ごしてほしいと思います。頑張れ！マイアミっ子！！



引き続き行われました保護者朝礼では、私から、上記「主体的な行動」に関連して、脳科学の見地から、いかに宿題に取り組ませるかの方策についてお話をしました。

また、子ども祭り実行委員会からご協力のお願い、ミニバザーのお知らせ、運動会に関する報告などがありました。

次回の全校朝会は、夏休み明けの8月9日、そして保護者朝礼は8月16日となります。今回同様、たくさんの皆さんにお集まりいただけますよう、よろしくお願いいたします。

連絡事項

◎ 5月31日から、6月21日までの4週間は、個人面談期間になりますので、特別時間割となります。8時45分から1時間目の授業を始めますので、遅れないように登校してください。

マイアミ補習校欠席等フォーム

欠席・遅刻・早退などの連絡は、右のQRコードからできます。

どうぞご利用ください。

